

広島・長崎 戦前・原爆・戦後 空中写真と地図の伝承録



□本書の特徴

- ◆広島と長崎の街を戦前・原爆前後・戦後・現代に分け、空中写真と地図で比較
- ◆地域ごとの詳細比較で、都市の変遷と記憶を可視化
- ◆米軍偵察写真・戦前地形図・戦後復興写真・最新立体地形図ほかを収録

□おもな内容

【広島編】

- ◆1925年から2025年まで、広島市中心部を8つの年代で比較
- ◆1945年9月7日、爆心地周辺・広島城周辺の大縮尺写真ほか

【長崎編】

- ◆1924年から2025年まで、長崎市中心部を7つの年代で比較
- ◆1945年9月7日、爆心地周辺・長崎駅周辺の大縮尺写真ほか

●ご注文方法

- インターネット：日本地図センターネットショッピングサイト
<https://net.jmc.or.jp/index.html> よりご注文ください。
- 書店お取り寄せ：最寄りの書店へ、このチラシをご持参の上、ご注文ください。
- その他：右記にお問い合わせください。

米国国立公文書館所蔵米軍撮影 空中写真

太平洋戦争末期、サイパンの基地に配備された第3写真偵察戦隊は、B-29を写真偵察専用に変更した撮影機F-13を用いて、1944（昭和19）年11月から日本に対して写真偵察を始めました。（中略）長崎の被爆者の方の証言の一つに「原爆の翌日にB-29が飛んで来て、また原爆を落とされるのではないかと思った」とあります。これは偵察に飛んできたF-13を目撃されたことと推察されます。

（本文より）

A4判 104ページ
定価：1980円（税込）
発行：2025年7月25日
ISBN978-4-88946-405-4



9784889464054

●お問い合わせ

（一財）日本地図センター

東京都目黒区青葉台 4-9-6
<https://www.jmc.or.jp/>
情報サービス部情報サービス課
TEL:03-3485-5414
FAX:03-3465-7591